

《開会式行事記録》

司会者 定刻がきましたので、ただ今より部落解放第三回徳島県学習会中学生集会の開会行事を行いたいと思います。本日の全体会の司会を担当させていただきます、大麻中学校三年のOです。大麻中学校三年のFです。吉野中学校三年のMです。よろしくお願いします。それではまず、開会行事開会の言葉を、板野中学校三年Yくんにお願います。

宣言者 ただ今より、部落解放第三回徳島県学習会中学生集会を「WITH」ともに燃やそう解放の炎！」のメインスローガンのもと、開催いたします。

司会者 開会の言葉に続いて、私たちの原点とも言おうべき「水平社宣言」の朗読を行いたいと思います。資料の見開きをお開けください。参会者のみなさんはご起立のほどお願いいたします。なお、代表して朗読の指揮をしていただくのは、日和佐中学校三年のSくんです。よろしくお願いします。参会のみなさんも、どうぞ一緒に朗読してください。

朗読者 《「水平社宣言」朗読》

司会者 ありがとうございます。起立のまま、引き続き「翼をください」と「解放子ども会のうた」を合唱したいと思います。知らない人もいますので、知っている人で、リードしていきたいと思います。役員の方はすいませんが前に出てきてください。ご協力よろしくお願いします。

それでは、「翼をください」をしっかりと声で歌いましょう！

《「翼をください」合唱》

司会者 それでは続いて、「解放子ども会のうた」を合唱しましょう！

《「解放子ども会のうた」合唱》

司会者 続いて、本会実行委員長、吉野中学校三年Kさんより、開会のあいさつをいたします。よろしく願います。

委員長 みなさんおはようございます。挨拶として自分のことを少し話したいと思います。私は小学生のころ手を挙げて発表するのが苦手でした。授業中も答えが分かっているのに、どうしても手を挙げることができませんでした。道徳の時間も自分の意見を何も言わず過ごし

ていたような気がします。

こんな風だった私も、今ではどうと自分の意見が言えるようになりました。私がこんなに変わることができたのは、たくさんのすばらしい先生方に出会ったからです。差別への憤り、自分の意見を言うことの大切さ、人間としての生き方を本当に一生懸命教えてくれました。私は人との出会いで自分を変えることができました。小学生の頃の自分より今の自分の方が好きです。

みなさんの中にも、自分の意見を言うのが苦手な人がきつというと思います。私にはその気持ちが痛い程よく分かります。けれど、人間というのは本当に変わるものです。自分を変えるきっかけが今日のこの会だったら、とてもすばらしいと思います。きっかけは人それぞれ違うと思います。一日一日を大切に生きていけば自分というものが見えてくると思います。

最後に、今の世の中には間違ったことがたくさんあると思います。大人になるにつれ、今見えなかったことも見えてくると思います。差別を目の前にすることもあると思います。間違っていることに対して間違っているといえる大人になりましょう。そのためにこの青春を大

切にしましょう。みんなの意見を大切に聞いて、差別に對する自分の考えを深めていきましょう。知ることは最も大切なことだと思います。

今日の大会が充実した時間になるように、みんなで支え合って頑張りましょう。固い絆で結ばれた場を広げていきましょう。

司会者 続きまして、運営委員会を代表し、部落解放同盟徳島県連合会の方よりあいさつの言葉を頂戴したいと思えます。

運営委員会 おはようございます。学習会の中学生のみなさん、夏休みにもかかわらず朝から差別をなくすための第三回徳島県の中学生集會に参加されまして、大変ご苦労さまでございます。一言みなさんがともにこれから活動するための連帯の挨拶として、解放同盟を代表いたします、一言挨拶を申し上げます。

先ほど始まる前に、水平社宣言をみなさんとともに読みました。特に人の世に熱あれ、人間に光あれという言葉は、日本で初めての人権宣言でございます。特にその三月三日から私たちの大先輩達は、部落差別をなくするために、今日まで七十四年間の厳しい闘いを展開してま

いました。その歴史を私たちのおじいさんおばあさん、そしてお父さんお母さん、そして今、こういう席にたっている私たち、そしてこれからみなさん達にうけついでいただく、こういう大きな目的を持っています。

この水平社宣言より、闘い取られてきた制度はたくさんあります。特に今みなさんが、地域で学習会に参加しているこの制度、そして小、中、高、大学に入るための入学支度金制度。そしてこれからみなさんが受けようとする高校奨学金、大学奨学金。そして、これからまた卒業して、みなさん方に非常に就職の機会均等を保証する中で必要であります、車の運転養成事業制度など、すべてのこの制度が、部落解放を願った私たちの大先輩の闘いによって生まれた制度だということを、ここでもう一度認識していただきたいと。

そして、最後にもありましたように、これからみなさんが、何をしたいかなければならないかを十分に考えていただきたい。水平社宣言中にもありました部落民自らが団結して立ち上がる、この言葉をみなさんもう一度かみしめていただきたい。部落差別を人はなくしてくれませぬ。部落民自身が仲間とともに立ち上がらないと、こ

の問題は絶対になくならないと私は思っています。そして私もそういう気持ちで、今日までこの解放運動を続けてきております。これからも続けていきたい。そして自分の子供たちにも、やっぱり団結の強さというものを教えていきたいと思っております。ですから、この三回の集会の中で、これから皆さん方が本当に先輩の輝かしい歴史をどう受け継いでいくか、そしてどう考えていくか、意見を十分出し合いながら、ともにどうい形の中で生まれてきたのかを考えて議論していただきたい。

最後に言えるのはやはり、すべての部落解放から生まれて来たこの制度は、自分たちの生活の中から生まれてきたのだということを認識していただきたい。差別によって本当に人間以外の人間として位置づけられ、苦しい生活を味わってきたその私たちの大先輩が、その生活を基盤にしなから、いったい何が必要であるのかということを考えて生み出してきたのが、今日までのこの制度です。そしてこれから私たちは、部落解放基本法という、国が責任をもって差別がなくなるまで法律のもので解決していくという大きな闘いを、今現在やっております。その闘いも、私たちの時代ではできないと思いますが、こ

れからの皆さん方がこの闘いを受け継いでいただきたい。そういう気持ちを持つているのも事実であります。

ですから、この集会の中でもこれから自分達が何をしたいかなければならないのかを、ここに団結しているみなさん方とともに議論しながら、そして、私たちもこの後の分科会にも参加して皆さん方の意見を聞き、そしてまた、私たちの意見も聞きながら、これからの徳島県におけるの部落差別をなくするための活動のあり方というものを、私も勉強していきたいし、これからも皆さん方と闘っていききたいことを考えておりますので、ともに差別をなくするまで頑張りましょうということをお願いしまして、全体の挨拶に代えさせていただきます。

司会者 ありがとうございます。続きまして徳島県教育委員会の方より、激励のあいさつを頂戴したいと思います。

県教委 おはようございます。徳島県教育委員会の倉本と申します。あいにく本日、青木教育長が県外出張をしておりまして、ここにまいりまして皆様方に挨拶をするのができません。しかしながら、皆様方にくれぐれもよ

ろしくとメッセージを預かっておりますので、そのメッセージを皆様私の方からお伝えして、激励の挨拶に代えさせていただきます。

第三回徳島県学習会中学生集会開催されるに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

日ごろ皆様方が、各学校や学習会において同和問題の解決に向け、リーダーとして活躍されておりますことに関しまして、心より敬意を表するとともに、声援を送りたいと思います。一日も早い同和問題の解決は私たちの共通の願いであり、県教育委員会といたしましても同和問題の解決に向けて、積極的に取り組んでいるところでございます。

さて、学習会は長年の多くの人々の熱意により、昭和四十八年に学力の向上と、同和問題解決に積極的に取り組む力を養うことを目的に制度化され、実施されてまいりました。この間地域の方々と関係諸機関、諸団体の支えと教職員の努力によって、多くの困難を克服しながら学習会を継続し、成果を上げてきたところでございます。今後、さらに学習会の充実を図るためには、県内すべて

の教職員、保護者や生徒が学習会の意義を常に確かめつつ、ともに手を携えて歩むことが大切であると思います。とりわけ学習会に参加するみなさんが差別を見抜き、差別をなくしていこうとする意欲と実戦力を持つことが重要であります。

本日の集会は、各学校や地域での実践や想いを交流し合い、仲間意識を深め、主体的に同和問題解決に向けて取り組む意欲を育てることを目的に開催されまことに、意義あることだと思えます。参加されたみなさんがその成果を各学校や地域に持ち帰り、同和問題に向けて取り組むよきリーダーとして、今後ますます活躍されることを期待いたしております。

最後になりましたが本日の大会の成功を祈念しますとともに、本集会を開催するにあたり、ご支援ご指導くださったました関係者の皆様方の熱意に、敬意と感謝の意を表してご挨拶いたします。

徳島県教育委員会教育長 青木竹久

以上でございます。今日はひとつ、いい一日になりましたように、私の方からも期待して挨拶に代えさせていただきます。

だきます。

司会者 ありがとうございます。その他にも、徳島県同和教育協議会からも激励にかけてくださっています。それでは、開会行事閉会の言葉を、板野中学校三年Sくんお願いします。

宣言者 部落解放第三回徳島県学習会中学生集会開会行事を終了します。

司会者 それではこれより集会行事にうつりたいと思えますが、日程などの事務連絡について、板野中学校三年のKくんより申し上げますので、今しばらくお静かにお願いたします。

連絡者 板野中学校三年のKです。この後、早速全体会を始めますが、十時二十分から十二時まで全体会を本会場で行い、一時間の昼食休憩の後、十三時から十四時四十分まで、四つの分散会場に移動し、分散会を行っていただきたいと思えます。その後、二十分間の休憩をとって、十五時から総括、引き続いて十五時二十分から閉会行事にうつり、終了時刻は十五時四十分を目安に進めていきたいと思えます。

なお、ゴミなどについては各自で責任を持って処理す

るようお願いします。

みなさんの積極的で活発なご協力をよろしくお願います。

司会者 それでは全体会の準備ができるまでの間、しばらくお待ちください。